

新潟県の高校球児の並びに関係者の皆さんへ

昨日夕刻に、大変つらく残念な通知が届きました。それは、第102回全国高等学校野球選手権大会とそれに連なる地方大会の中止の通知です。夏の選手権大会に向けて各校、各野球部員がそれぞれに、現状でできることを行ってきていただけない返す返すも残念でなりません。それは、甲子園を夢見て練習に明け暮れた野球部員の皆さんだけでなく、現場で指導してくださった顧問の皆さん、私たち連盟役員や多くの関係者の皆さん、保護者の皆さん、高校野球を愛する多くのファンの皆さんが共通に持っている想いです。しかし、私たちの想いだけではいかんともしがたい状況にあることも事実です。

各県ごとに新型コロナウイルスの感染状況は異なりますが、皆さんの命や安全が何にもまして優先されなければなりませんし、高校野球の大会を挙行することによって感染が再燃されるようなことがあってはいけません。本県では、今なお多くの学校で、通常の授業が実施されていない状況があり、部活動の再開への見通しも明確になっていません。こうした状況では、各校の部員、関係者の皆さんお一人おひとりが、新潟県や新潟県教育委員会のガイドラインを遵守し、社会の一員としての勤めを果たす責任があることを今一度、肝に銘じてほしいと考えます。

夢を絶たれた高校生は、関係者は、皆さんだけではありません。そして、本県だけや全国、世界にはそうした高校生が多くいるはずです。皆さんが仲間と共に甲子園という夢舞台を目標に励まし合い、鍛え合ってきた日々は色褪せるものではありません。むしろ、こうした困難を乗り越えることができる皆さんであると信じて疑いません。ぜひ、高校野球を通して培った種々の力を、今後の人生においても発揮していく原動力としてほしいと願っています。

まだまだ先を見通すことができない状況ではありますが、皆さんの知恵をお借りして新潟県高等学校野球連盟としてできることを検討したいと考えていますことを承知ください。

令和2年5月21日

新潟県高等学校野球連盟 会長 富樫信浩